

総務省承認 No. 22670
承認期限平成 14 年 3 月 31 日まで

整理番号			

※ 記入しないでください



平成13年度水産加工業経営調査 水産加工業経営概況調査票

(平成13年9月1日現在)

この調査は国(水産庁)が水産加工業の振興をはかるための基本調査であり、水産庁が(財)農林統計協会に委託して行うものです。税金その他申告者に不利益を生じるような目的には使用しません。

事業所の名称			
事業所の所在地	郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
	都道府県	市町村	
代表者の氏名			本社(経営体の本部)の名称
本社の所在地	郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
	都道府県	市町村	

この調査票のご回答者			
氏名		電話番号	- -

A. 経営全般

1. 経営組織は次のうちどれですか。該当するもの1つの番号に○を付けてください。

個人	会社	組合	その他
1	2	3	4

会社経営に該当する場合、資本金はいくらですか。

┌───┬───┬───┬───┬───┬───┐
 │ │ │ │ │ │ │
 └───┴───┴───┴───┴───┴───┘ 万円

2. 行っておられる業種についてお聞きします。下表の業種のうち行っておられる業種別の所得割合はどのようになっていますか。下表にその所得割合をパーセントで記入してください。

注：所得とは、売上高からその商品の生産に要した費用総額を控除したものをいいます。また、所得割合は、小数点以下第1位を四捨五入して整数で、全て加算すると100となるよう記入してください。

業 種	所得割合
水産加工業	. . . %
漁 業	. . .
問屋仲買業	. . .
小 売 業	. . .
農 業	. . .
食料品製造業(水産加工業を除く)	. . .
その他()	. . .
	1 0 0

3. 現在、水産加工業協同組合などに加入していますか。下表で、加入している全てのものの番号に○を付けてください。

加	水産加工業協同組合	1
入	漁業協同組合	2
し	中小企業等協同組合	3
て	協業組合又は商工組合	4
い	社団法人	5
る	その他()	6
加入していない		7

4. 製造する水産加工品について記入してください。下記の品目の年間売上高について、総売上高に占める各品目のおよその売上高割合をパーセントで記入してください。

注：水産加工品の内容等については、別添『水産加工品の種類及び内容』を参照してください。また、売上高割合は、小数点以下第1位を四捨五入して整数で、全て加算すると100となるよう記入してください。

品 目 名	売上高割合(%)	品 目 名	売上高割合(%)
缶・びん詰	. . .	水産冷凍食品	. . .
海そう加工品、寒天	. . .	塩・乾類	. . .
魚肉ハム・ソーセージ、水産ねり製品	. . .	節・けずり節(パック包装を含む。)	. . .
冷凍水産物	. . .	つくだに類、その他の加工食品	. . .
冷凍すり身	. . .	飼肥料・魚油	. . .

B. 水産加工業について

1. 原料魚等の使用状況について記入してください。

① 原料魚(生鮮・冷凍等)又は半製品を原料とした場合に、使用した原料魚又は半製品の最近1年間の使用量(トン)及び調達先別割合(パーセント)を種別に記入してください。

注：トン数、パーセントとも、小数点以下第1位を四捨五入し、整数で記入してください。また、調達先別割合は、全て加算すると100となるよう記入してください。

また、「半製品」とは、原魚に加工処理を施したもの(すり身、フィレー、フィッシュブロック、煮干し、節、ダルマ、塩蔵・乾燥の魚介類、魚卵及び魚粉・魚粕等)であって、単に除頭、除内臓及び脱殻等の一次的に処理したもの(生鮮、冷蔵又は冷凍のものであるかどうかを問いません。)を除きます。

	魚 種	使用量 トン	調 達 先 別 割 合			
			地 元 %	県 内 %	県 外 %	輸入もの %
原 料 魚 (生 鮮 ・ 冷 凍 等)	まいわし					
	かたくちいわし(しらす)					
	うるめいわし					
	さば類					
	さんま					
	まあじ					
	すけとうだら					
	まだら					
	さけ・ます類					
	ほっけ					
	かつお類					
	かじき類					
	まぐろ類					
	かれい類					
	きちじ					
	べにずわいがに					
	いか類					
	たこ類					
	いかなご					
	ほたてがい					
その他の魚介類						
こんぶ						
わかめ						
その他の海そう類						
半 製 品	冷凍すり身 (生すり身・落し身を含む)					
	海そう乾燥品					
	乾燥・半乾燥魚介類					
	フィレー・切身					
	魚卵 その他 ()					

- ② 原料魚等(原料魚及び半製品)をどのような方法で仕入れていますか。下記のうち該当するもの全ての番号に○を付けてください。

直接仕入	自家生産	1
	市場の卸業者から	2
	仲卸・問屋から	3
	貿易商社から	4
	加工業者から	5
	組合等を通じての共同仕入れ	6
その他()		7

2. 水産加工業の操業状況について記入してください。

- ① 最近1年間の水産加工部門の操業日数は何日でしたか。下記から、該当するもの1つを選び、その番号に○を付けてください。

1 100日未満 2 100日～150日 3 150日～200日
4 200日～250日 5 250日～300日 6 300日以上

- ② また、加工生産の最盛期は何月ですか。→ 月

3. 製品をどのような方法で販売していますか。下表の販売方法別にその販売割合をパーセントで記入してください。

注：販売割合は、小数点以下第1位を四捨五入し整数で記入し、合計が100となるよう記入してください。

販売方法	販売割合(%)
組合を通じて販売する	
市場へ直接出荷する	
市場以外の問屋へ出荷する	
直接小売店・量販店・生協へ販売する	
自家店頭で小売りする(通販含む)	
直接外食・給食産業へ納入する	
直接加工業者(高次加工)へ納入する	
その他	
合 計	1 0 0

4. 最近1年間に受託加工を行っていますか。行っている場合は、製品売上高に占めるの割合は何パーセントぐらいですか。

1 最近1年間の受託加工の割合はおおよそ→ % 2 受託加工は行ってない

注：受託加工の割合は、(受託加工売上高÷製品売上高)×100で計算し、小数点以下第1位を四捨五入し整数で記入してください。

5. 今後5年以内の設備投資計画について記入してください。

- ① 設備投資(土地取得を除く。)について、下記のうち、該当するもの1つの番号に○を付けてください。

1 今後5年以内に設備投資を行う予定である 2 今後5年以内には設備投資を行う予定はない

- ② ①で1に○を付けた方(今後5年以内に設備投資を行う予定のある方)にお聞きします。その投資額はどの程度を予定しておられますか。

投資予定額はおおむね 万円

③ ①で1に○を付けた方(今後5年以内に設備投資を行う予定のある方)にお聞きします。その設備投資の内容は下記のうちどれですか。該当するもの全ての番号に○を付けてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1 事務所 | 2 工場 |
| 3 倉庫 | 4 冷凍冷蔵施設・設備 |
| 5 廃棄物(排水含)処理施設・設備 | 6 研究・検査室 |
| 7 衛生管理設備(例:トイレ、手洗い場、消毒層、使用水等殺菌装置、空調装置等) | |
| 8 その他(_____) | |

④ ①で1に○を付けた方(今後5年以内に設備投資を行う予定のある方)にお聞きします。その設備投資の目的は下記のうちどれですか。下記のうち該当するもの全ての番号に○を付けてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 合理化・省力化するため | 2 規模・能力を拡大するため |
| 3 老朽化施設の維持・補修のため | 4 品質・衛生管理向上のため |
| 5 公害防止(環境対策)のため | 6 省エネルギーのため |
| 7 研究・開発のため | 8 原料魚の転換を図るため |
| 9 海外に加工場を立地するため | |
| 10 その他(_____) | |

⑤ ①で1に○を付けた方(今後5年以内に設備投資を行う予定のある方)にお聞きします。水産庁では水産加工業者のための設備資金融資制度「水産加工資金」があり、農林漁業金融公庫・中小企業金融公庫・国民生活金融公庫で扱われていますが、そのことをご存知でしたか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

⑥ ①で1に○を付けた方(今後5年以内に設備投資を行う予定のある方)にお聞きします。今後、設備投資計画に「水産加工資金」を利用したいと思いますか。

- | | | |
|---------|----------------|---------|
| 1 利用したい | 2 条件によっては利用したい | 3 利用しない |
|---------|----------------|---------|

⑦ ⑥で3に○を付けた方(利用しない方)にお聞きします。利用しない理由は何ですか。下記のうち該当するもの1つの番号に○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 資金の内容が分からない | 2 扱っている金融公庫が近くにない |
| 3 他の融資に比べ条件が厳しい | |
| 4 融資条件(魚種・地域)に適合せず利用できない | |
| 5 取引している金融機関が他にある | |
| 6 その他(_____) | |

6. 消費者ニーズの変化に対応して、商品開発を行うとき、重視していることはなんですか。下記のうち該当するもの全ての番号に○を付けてください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 風味を重んじた食品 | 2 高級化した食品 |
| 3 ダイエット・健康を重視した食品 | 4 低価格食品 |
| 5 ファッション性のある食品 | 6 簡便食品 |
| 7 小型化食品 | 8 いつでも食べられる食品 |
| 9 国産原料を使用した食品 | |
| 10 その他(_____) | |

7. あなたが当面する課題等がある場合は、下記のうち該当するもの全ての番号に○を付けてください。

(経営・全般)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 原料魚介類の減少 | 2 価格・品質等の競争激化 |
| 3 売れ行き不振 | 4 利益率の低下 |
| 5 人件費の上昇 | 6 従業員の確保難 |
| 7 後継者の育成 | 8 原料高による資金繰りの悪化 |
| 9 施設整備等に要する資金繰りの悪化 | 10 販路開拓 |

(法律・社会ニーズ・輸入関係)

- | | |
|--|---------------------------|
| 11 輸入製品との競合激化 | 12 多頻度配送・包装済製品納入に関する要求の増加 |
| 13 鮮度追求による日付表示への対応 | 14 原料原産地表示への対応 |
| 15 製造物責任法(PL法)への対応 | 16 加工残さ・排水の処理費用の増加 |
| 17 容器(トレイ)等の廃棄等、環境対応 | 18 HACCPを含む一般的衛生管理 |
| 19 その他() | |
| 20 問題点ほとんどくない(これを選ばれた場合は、1~19は選ばないでください) | |

7-1 7. の問で「1 原料魚介類の減少」に○印を付けた方にお聞きします。地場で水揚げされる魚介類(加工原料)が減少した場合、あなたは、原料確保のためにどの様な対策をまず第一に講じますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 地場の原料を予め確保(保管)する | 2 移入の原料を確保(保管)する |
| 3 輸入の原料を確保(保管)する | 4 加工品生産を抑制する |
| 5 原料魚種の多様化・転換を図る | 6 元々地場の原料は使用していない |
| 7 その他() | |

7-2 7-1の問で1~5の選択肢に○印を付けた方にお聞きします。対策を講じるために重要な事項について、該当するものすべてに○印を付けてください。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1 従来の仕入先との関係を強化する | 2 新規仕入先の開拓 |
| 3 原料情報の収集 | 4 運転資金の確保 |
| 5 設備資金の確保 | |
| 6 生産ライン等の変更(改造)等に対応するための技術力 | |
| 7 新製品開発のための技術力 | 8 経営コストの削減 |
| 9 その他() | |

8. 水産加工業の経営について、今後5年間ではどのような考えを持っていますか。下記のうち該当するもの1つを選びその番号に○を付けてください。

- | | | |
|-----------------------|--------|---------------------------|
| 1 事業規模を拡大したい | -----> | 8-1 の間にお答えください。 |
| 2 ほぼ現状どおりの規模及び内容で続けたい | → | 8-1 の間にお答えください。 |
| 3 事業規模を縮小したい | -----> | 8-1, 3 の間にお答えください。 |
| 4 事業転換したい | -----> | 8-2, 3 の間にお答えください。 |
| 5 廃業したい | -----> | 8-3 の間にお答えください。 |

8-1 8. の間で、「1 事業規模を拡大したい」、「2 ほぼ現状どおりの規模及び内容で続けたい」及び「3 事業規模を縮小したい」とお答えになった方にお聞きします。今後の経営方向として、どのようにお考えですか。下記のうち、該当するもの全ての番号に○を付けてください。

- 1 新製品(自社が手がけていない既存の製品を含む。)の開発・導入に努めたい
- 2 生産工程を合理化したい
- 3 高性能の機械・装置を導入したい
- 4 原料魚(海そうを含む。)の共同購入を推進したい
- 5 原料魚の転換を図りたい
- 6 新しい販売ルートを開拓したい
- 7 共同化若しくは協業化したい
- 8 従業員(外国人労働者(研修・実修生を含む。))を含む。)の確保を図りたい
- 9 人件費・事務費を削減したい
- 10 その他(_____)

8-2 8. の間で、「4 事業転換したい」とお答えになった方にお聞きします。どのような事業分野に転換したいとお考えですか。下記のうち、該当するもの1つを選びその番号に○を付けてください。

- 1 同じ水産加工分野
- 2 水産加工分野以外の漁業等の水産分野
- 3 水産分野以外

8-3 8. の間で、「3 事業規模を縮小したい」、「4 事業転換したい」、「5 廃業したい」のいずれかに○印を付けた方にお聞きします。その理由について該当するもの全てに○印を付けてください。

- 1 原料の入手が困難
- 2 労働力の確保が困難
- 3 後継者が不在
- 4 収益の減少
- 5 資金繰りの悪化(借入金の返済が困難)
- 6 新たな投資が困難(品質・衛生管理高度化、技術開発、新製品開発、販売対策等)
- 7 内外の販売競争が激化(対輸入製品、対大手メーカー等)
- 8 経営方針の変更
- 9 その他(_____)

9. 最近1年間において経営コスト削減に取り組みましたか。

- 1 取り組んだ
- 2 取り組まなかった

→ 1に○を付けた方(経営コスト削減に取り組んだ方)にお聞きします。どのようなコスト削減に取り組みましたか。該当するもの全ての番号に○を付けて下さい。また、取り組んだ各項目の効果はどうでしたか。下表の右4欄の該当するところに○を付けて下さい。

○印	項目	非常に効果があった	ある程度効果があった	あまり効果はなかった	効果はなかった
1	人件費関係				
2	事務費関係				
3	原料調達関係				
4	生産工程関係(機械設備含む)				
5	施設関係(土地含む)				
6	物流(配送・配達)関係				
7	販売関係				

これで、この調査は全て終わりです。ご協力、ありがとうございました。

総務省承認 No. 22671
承認期限平成 14 年 3 月 31 日まで

整理番号			

※ 記入しないでください



平成13年度水産加工業経営調査 水産加工業経営内容調査票

この調査は国(水産庁)が水産加工業の振興を図るため、水産庁が(財)農林統計協会に委託して行うものです。この調査でご記入いただいた内容は、統計を作成するためだけに使用し、税金その他の目的には使用しません。

事業所の名称			
事業所の所在地	郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
		都道府県	市町村
代表者の氏名			本社(経営体の本部)の名称
本社の所在地	郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
		都道府県	市町村

この調査票のご回答者			
氏名			電話番号
			- -

※本調査は、貴社の直近の決算期おける財務状況についてご記入いただくものです。

記入内容について：関連他組織と連結決算を行ってられる場合は、貴社の個別ベースの決算内容を記入してください。

1. 貸借対照表

平成 年 月

項 目		金額 (千円)	
資 産	流動資産		
	現金・預金 1		
	売上債権 2		
	棚卸資産 3		
	その他流動資産 4		
	計 (1~4の計) 5		
固定資産	土地・建物 6		
	設備資産 7		
	その他固定資産 8		
	計 (6~8の計) 9		
繰延資産 10			
	合計 (5+9+10) 11		
本 資 本	流動負債	仕入債務 12	
		短期借入金 13	
		その他流動負債 14	
		計 (12~14の計) 15	
		固定負債	長期借入金 16
	その他固定負債 17		
	計 (16+17) 18		
	自己資本	資本金・出資金又は元入金 19	
		法定準備金 20	
		剰余金 (当期利益を除く) 21	
		当期利益 22	
		計 (19~22の計) 23	
		合計 (15+18+23) 24	

注:1) 資産合計(11)と資本合計(24)及び各々の内訳が一致するよう端数を調整してください。

2. 損益計算書

平成 年 月 ~ 年 月

項 目		金額 (千円)	
営 業	売 上 高	製品売上高 1	
		加工収入高 2	
		純売上高 (1+2) 3	
	売 上 原 価	期首製品棚卸高 4	
		当期製品製造原価 5	
		期末製品棚卸高 6	
		(4+5-6) 7	
		総利益 (3-7) 8	
利 益	販 売 費 及 び 管 理 費	人件費・福利厚生費 9	
		支払運賃・荷造費 10	
		広告・宣伝費 11	
		製品保管料 12	
		従業員教育費 13	
		研究開発費 14	
	その他販売費及び管理費 15		
	合計 (9~15の計) 16		
	(8-16) 17		
経 常 利 益	営 業 外 損 益	受取利息 18	
		その他営業外収益 19	
		支払利息 20	
		その他営業外費用 21	
		(17+18+19-20-21) 22	
税 引 前	特 別 損 益	特別利益 23	
		特別損失 24	
		当期利益 (22+23-24) 25	
法人税等引当額 26			
当期利益 (25-26) 27			

注:1) 各項目間の計算値が一致するよう端数を調整してください。

2) 当期利益(27)は貸借対照表の当期利益(22)と一致します。

3. 製造原価内訳

平成 年 月

項目		金額 (千円)		
製 造 総 費 用	直 接 材 料 費	期首直接材料棚卸高 1		
		当期直接材料仕入高 2		
		期末直接材料棚卸高 3		
		計 (1+2-3) 4		
	接 外 費	注 費 5		
		直 接 労 務 費 6		
		そ の 他 直 接 経 費 7		
		計 (4~7の計) 8		
	間 接 費	間 接 材 料 費 9		
		間 接 労 務 費 10		
		製 造 経 費	減 価 償 却 費 11	
			水道光熱・燃料費 12	
			そ の 他 製 造 経 費 13	
			計 (11~13の計) 14	
			計 (9+10+14) 15	
	合計 (8+15) 16			
	期首仕掛品棚卸高 17			
	期末仕掛品棚卸高 18			
	当期製品製造原価 (16+17-18) 19			

注:1) 当期製品製造原価欄(19)には、2の損益計算書の当該項目欄(5)に記入した数値を記入してください。

2) 当期製品製造原価の内訳が一致するよう端数を調整してください。

ご協力ありがとうございました。 以上の質問のほかに、水産加工振興策についてご意見、ご要望がございましたら、下欄に自由にご記入ください。